

イエス様と二人だけで： 決して一人ぼっちじゃない

イエス様からのメッセージ

がっこうにいる時も、家でおもちゃで
遊んでいる時も、夜ベッドに横になって
いる時も、わたしはいつでも、君といっしょに
いるよ。¹ 部屋にほかのだれもいなくても、
君は一人ぼっちじゃない。わたしがいるからね。
こわがることはないんだ。わたしが君を
見守っているよ。一人でいるのが心配なら、
わたしのことを考えてごらん。わたしは、君の
大きくて強い友だちだから。君のことを気に
かけ、守ってあげるからね。

¹「主は決してあなたをはなれず、またあなたを見捨てられない。」
(聖書、申命記 31:6をわかりやすく言い換えたもの)



こわい時は、楽しいことを
かんがえるようにしてごらん。人が
こわいとおもふものでも、実際は
こわがる価値さえないことが
おおいんだ。どうなっているか
わからないから、何かがこわいのかも
しれない。それか、どうしてそんな
ことが起こるのか分からなくて
こわいのかもしれないね。何が
こわいのか、お母さんやお父さんに
はな話してごらん。短いお祈りをして、
しんこきゅう深呼吸を試みよう。それから、
たの楽しいこと、よいことをかんがえてみよう。
よいことをかんがえていれば、それが
こわい気持ちを追いはらってくれるよ。



わたしの愛^{あい}があれば、おそれなど
なくなるって、知^しっていたかい？
わたしの愛^{あい}が、おそれを全部^{ぜんぶ}
お追いはらうからだよ。² だから、
なにかがこわい時^{とき}には、わたしが
君^{きみ}を愛^{あい}していることをおも^{おも}だ
わたしは君^{きみ}のすぐそばについている
からね！ 君^{きみ}といっしょにいられる
時間^{じかん}を、これっぽちも見^みのがしたりは
しない。君^{きみ}は、わたしの特別^{とくべつ}な
友^{とも}だちだもの。君^{きみ}のそばにいて、
君^{きみ}のことを気^きにかけているよ。



ぼくが ^{ひとり}一人つきりでいても、
イエス様が ^{さま}ついていてる。
イエス様には、^{さま}こわい
ことなんて、^{ひと}一つもない。
だから、^{とも}友だちの ^{さま}イエス様が
そばに ^いいれば、
こわがる ^{こと}なんて、
^{なに}何も ^{ない}ないんだ。

